

教科（科目）	情報科学	学年（系）	1年
使用教科書	新しい技術・家庭 技術分野（東京書籍） これからの数学1（数研出版）		
副教材等			

1 学習目標

情報及び情報技術を活用するための知識と技能を習得させ、情報に関する科学的な見方や考え方を養うとともに、社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解させ、社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を育てる。

2 指導の重点

情報技術の面から情報社会を考えさせたり、情報社会を進展させるために社会のニーズに対応した情報技術の開発や改善が必要であることを考えさせたりするなどして、情報社会を支える情報技術の役割や影響を理解させ、情報と情報技術に関する基礎的な知識と技能の習得を通して問題の発見と解決に効果的に活用するための科学的な考え方を習得させる。

3 指導計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	備考
4	携帯電話のマナー		携帯電話のマナーについて学習します。携帯電話を使用する際のルールや携帯電話の電波について知るとともに、携帯電話を紛失した際の対応の仕方やカメラ付携帯電話の使用のマナーについて考えます。	2	マナーモードや肖像権について知る。
5	携帯電話のマナー		携帯電話のマナーについて学習します。携帯電話を使用する際のルールや携帯電話の電波について知るとともに、携帯電話を紛失した際の対応の仕方やカメラ付携帯電話の使用のマナーについて考えます。	2	マナーモードや肖像権について知る。
6	電子メール		電子メールについて学習します。メーリングリストという手段や、電子メールの送受信の仕組みについて学びます。それ以外にも、電子メール作成時に必要とされるポイントやメールアドレスを作成する際の注意点を学習します。	2	電子メール、メールサーバについて知る。
7	チェーンメール		チェーンメールについて学習します。チェーンメールのリンク先やチェーンメールが与える影響を知るとともに、チェーンメールの種類やチェーンメールの対処法などを学びます。	2	チェーンメール、リンクについて知る。
9	迷惑メール		迷惑メールについて学習します。スパムメールの存在や、なぜスパムメールが届くのかについて学びます。迷惑メールの種類や迷惑メールの拒否設定を学ぶことで、トラブルを回避する方法を学びます。	2	スパムメール、メルマガについて知る。
10	ブログ・電子掲示板		ブログ、電子掲示板について学習します。インターネット上での発言のルールを考えると同時に、識別番号やIPアドレスについて学びます。掲載内容の削除方法やプロフについて学ぶことで、ブログ、電子掲示板等を安全に利用する方法を知ります。	2	ブログ、電子掲示板について知る。

11	個人情報の取り扱い		個人情報の取り扱いについて学習します。問題のある情報の分類や個人情報が特定されることについて考えます。個人情報とは何かを知るとともに、個人ができる情報流出対策について学びます。	2	ハンドルネーム、匿名について知る。
12	個人情報の流出		個人情報の流出について学習します。携帯電話の機種変更や個人情報の流出、ファイル共有ソフトの問題点などについて考えます。個人情報の流出やケータイと個人情報について、適切な利用方法を学習します。	2	ケータイ、機種変更について知る。
1	個人情報の保護		個人情報の保護について学習します。個人情報保護法や、個人情報の漏えい対策について知るとともに、プライバシーポリシーとプライバシーマーク、個体識別番号について学習します。	2	電子マネー、クレジットカードについて知る。
2	ネット社会のモラルとマナー・個人情報についてのまとめ		1学年で学習した、8つのネット社会のモラルとマナー、個人情報の取り扱い方法についてのまとめをします。	2	
3	ネット社会のモラルとマナー・個人情報についてのまとめ		1学年で学習した、8つのネット社会のモラルとマナー、個人情報の取り扱い方法についてのまとめをします。	2	

計 22 時間(48分授業)

4 課題・提出物等

・授業の内容について記したレポートやノートを定期的に提出、学習状況の点検をします。

5 評価方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度	評価基準
情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身につけ、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身につけ、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報や情報社会に関心を持ち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとしている。	＜評定＞ 各観点の合計点達成率 A…75%以上 B…50%以上 C…50%未満
以上の観点を踏まえ、授業への取り組み（授業態度、学習活動への参加状況）、課題への取り組みなどから総合的に評価します。			

6 担当者からの一言

日常生活で起こることを学んでいきます。その立場になったらどうなるか考えて取り組んでいこう。